



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (兼) 財務本部長 (氏名) 田尾 和也 TEL 03-5793-8411
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満四捨五入

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	107,288	2.8	4,039	57.9	3,667	100.7	2,692	—
2019年3月期第3四半期	104,374	1.7	2,558	△29.0	1,827	△52.3	△447	—

（注）包括利益 2020年3月期第3四半期 2,457百万円（－％） 2019年3月期第3四半期 △1,322百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	73.97	—
2019年3月期第3四半期	△12.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	100,000	35,466	32.0	879.86
2019年3月期	102,152	34,646	30.3	851.34

（参考）自己資本 2020年3月期第3四半期 32,023百万円 2019年3月期 30,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2020年3月期	—	7.50	—		
2020年3月期 （予想）				7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	1.8	5,300	156.4	4,800	234.5	2,800	—	76.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3 Q	37,112,000株	2019年3月期	37,112,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3 Q	716,923株	2019年3月期	716,753株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3 Q	36,395,183株	2019年3月期3 Q	36,395,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(その他の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、米中貿易紛争の長期化により中国経済の成長が鈍化するとともに、欧州をはじめ各国の輸出環境が悪化し、またBrexit問題や、欧州・インド等での環境規制強化の影響もあり、景気の減速が明らかになりつつあります。国内経済は、企業収益に陰りが見られるほか、インバウンド消費の一服や消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動等もあり、先行きの不透明感が増しております。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,072億88百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は40億39百万円（前年同期比57.9%増）となりました。中国や米国での新規量産品の立ち上がりや寄与したことに加えて、日本国内、欧州を中心に品質ロスや固定費削減に努めたことにより、全体で増収・増益となりました。経常利益についても、営業利益の増益により36億67百万円（前年同期比100.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、所有不動産売却に伴う特別利益もあり、26億92百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億47百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① 日本

売上高265億89百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益21億32百万円（前年同期比109.0%増）となりました。生産効率の向上、品質ロスや物流費の低減、固定費削減等を行い収益力強化に努めました。

② 北南米

売上高は315億59百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は7億19百万円（前年同期比41.1%減）となりました。メキシコ工場等で現地の景況悪化の影響を受けたほか、輸入コスト増加や為替変動等により原材料費が増加し、減収減益となりました。

③ 欧州

売上高は196億38百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失は3億20百万円（前年同期は営業損失13億95百万円）となりました。新規品の立ち上がりにより売上増収となり、コスト面でも物流費や品質コストを抑制したことに加え、ドイツ子会社において不採算製品についての販売価格の見直しや人件費を中心に固定費削減を行った効果が徐々に現れており、損失額は減少しました。

④ 中国

売上高132億40百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益3億12百万円（前年同期比145.4%増）となりました。新規品の立ち上がり、固定費の抑制等が寄与して増収増益となりました。

⑤ アジア

売上高は162億63百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益14億79百万円（前年同期比8.0%減）となりました。インドにおいて環境規制の強化や金融情勢の影響を受けたほか、タイ、韓国においても景気減速の影響を受けました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,000億円となり、前連結会計年度末に比べて21億52百万円減少しました。主な要因は、流動資産では有利子負債の圧縮や買掛金支払等に伴って現金及び預金が減少し、在庫低減活動によって原材料や仕掛品等の棚卸資産が減少したこと、固定資産では所有不動産の売却に伴い土地と建物及び構築物が減少したことでありです。

負債合計は645億33百万円と、前連結会計年度末対比29億73百万円減少しました。増益により未払法人税等の税引当てが増加する一方、有利子負債を圧縮したほか、前期に引当てた米国における集団民事訴訟の和解金を支払い未払金が減少したことが、主な要因です。

純資産は354億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億21百万円増加しました。為替市場の変動により為替換算調整勘定が減少する一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。

このように、総資産が減少する一方で純資産が増加したことにより、当第3四半期連結会計期間末の総資産に対する純資産の比率は、前連結会計年度末の33.9%から35.5%へと改善しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における、現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は136億23百万円となり、前連結会計年度末と比べて18億81百万円減少しました。当第3四半期連結累計期間における、キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりです。

営業活動により得られた資金は49億98百万円となりました（前年同四半期は43億48百万円の収入）。営業活動で得られた経常的収入によって、運転資金の増加や法人税等支払等の経常的支出を賄いました。

投資活動に使用した資金は30億47百万円となりました（前年同四半期は64億95百万円の支出）。設備投資を行い有形固定資産の取得による支出が生じる一方で、所有不動産の売却を行ったことにより有形固定資産の売却による収入（30億92百万円）を得ました。

財務活動に使用した資金は36億67百万円となりました（前年同四半期は18億77百万円の収入）。長期借入金は借換えを行う一方で、短期借入金、リース債務を返済し有利子負債の圧縮に努めたほか、配当金の支払や非支配株主への配当金の支払を行いました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2019年11月14日に公表した2020年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年2月13日発表の「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,505	13,623
受取手形及び売掛金	19,123	19,672
電子記録債権	472	498
製品	3,467	3,647
仕掛品	8,905	7,670
原材料及び貯蔵品	9,715	9,369
その他	2,247	2,736
貸倒引当金	△81	△16
流動資産合計	59,352	57,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,865	17,626
機械装置及び運搬具	68,997	68,269
工具、器具及び備品	12,342	13,164
土地	3,448	2,812
リース資産	677	2,291
建設仮勘定	3,995	4,877
減価償却累計額	△65,999	△67,547
減損損失累計額	△9,878	△9,764
有形固定資産合計	31,447	31,727
無形固定資産		
のれん	2	—
リース資産	10	7
その他	278	176
無形固定資産合計	291	183
投資その他の資産		
投資有価証券	8,665	8,666
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	1,793	1,375
その他	600	846
投資その他の資産合計	11,062	10,890
固定資産合計	42,800	42,800
資産合計	102,152	100,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,265	9,476
電子記録債務	5,202	4,697
短期借入金	25,491	23,715
未払金	4,219	2,380
リース債務	305	283
未払法人税等	311	754
未払消費税等	330	748
賞与引当金	1,087	949
役員賞与引当金	19	6
製品保証引当金	1,095	1,066
その他	4,611	6,849
流動負債合計	52,935	50,922
固定負債		
長期借入金	8,746	8,174
長期末払金	713	326
リース債務	1,336	1,225
繰延税金負債	45	280
役員退職慰労引当金	164	164
退職給付に係る負債	3,484	3,373
その他	83	70
固定負債合計	14,571	13,611
負債合計	67,507	64,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,365	2,365
利益剰余金	25,640	27,604
自己株式	△477	△477
株主資本合計	31,009	32,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,310	3,294
為替換算調整勘定	△3,372	△4,273
退職給付に係る調整累計額	38	28
その他の包括利益累計額合計	△24	△950
非支配株主持分	3,661	3,444
純資産合計	34,646	35,466
負債純資産合計	102,152	100,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	104,374	107,288
売上原価	91,388	94,256
売上総利益	12,986	13,033
販売費及び一般管理費	10,428	8,993
営業利益	2,558	4,039
営業外収益		
受取利息	42	88
受取配当金	212	233
その他	137	471
営業外収益合計	391	791
営業外費用		
支払利息	307	352
為替差損	578	553
その他	236	259
営業外費用合計	1,122	1,163
経常利益	1,827	3,667
特別利益		
固定資産売却益	5	1,937
特別利益合計	5	1,937
特別損失		
固定資産売却損	6	5
固定資産除却損	89	71
減損損失	360	382
特別損失合計	455	459
税金等調整前四半期純利益	1,377	5,145
法人税、住民税及び事業税	600	1,200
法人税等調整額	549	666
法人税等合計	1,149	1,865
四半期純利益	229	3,280
非支配株主に帰属する四半期純利益	676	588
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△447	2,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	229	3,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,070	△16
為替換算調整勘定	△475	△797
退職給付に係る調整額	△6	△10
その他の包括利益合計	△1,551	△823
四半期包括利益	△1,322	2,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,047	1,766
非支配株主に係る四半期包括利益	725	691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,377	5,145
のれん償却額	2	2
減損損失	360	382
減価償却費	4,318	3,910
有形固定資産除却損	89	71
有形固定資産売却損益(△は益)	1	△1,932
受取利息及び受取配当金	△254	△320
支払利息	307	352
売上債権の増減額(△は増加)	△1,673	△1,337
たな卸資産の増減額(△は増加)	△961	627
仕入債務の増減額(△は減少)	1,337	△789
賞与引当金の増減額(△は減少)	△150	△123
未払金の増減額(△は減少)	△101	△446
未払費用の増減額(△は減少)	693	426
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△104	△97
長期未払金の増減額(△は減少)	△433	△388
その他	422	1,529
小計	5,232	7,013
和解金の支払額	—	△1,221
利息及び配当金の受取額	255	321
利息の支払額	△363	△367
法人税等の支払額	△950	△749
法人税等の還付額	175	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,348	4,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,298	△5,868
有形固定資産の売却による収入	127	3,092
投資有価証券の取得による支出	△355	△23
投資有価証券の売却による収入	41	—
その他	△11	△247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,495	△3,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,508	△1,432
長期借入れによる収入	—	1,112
長期借入金の返済による支出	△2,056	△1,486
配当金の支払額	△910	△728
非支配株主への配当金の支払額	△448	△908
リース債務の返済による支出	△217	△226
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,877	△3,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	△147	△166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△418	△1,881
現金及び現金同等物の期首残高	15,060	15,505
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,642	13,623

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社連結子会社の人員削減について

第2四半期連結累計期間において重要な後発事象として記載しました2019年10月29日開催の取締役会決議に基づく当社連結子会社であるGeiger Automotive GmbHの約120人を対象とする人員削減について、対象に含まれる従業員に対し解雇通知をするとともに、退職に向けた手続を進めております。なお、当該人員削減に伴う従業員に対する解雇給付(特別退職金)等を2020年3月期の第4四半期会計期間にて計上する予定でありますが、詳細については精査中です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,669	32,611	17,408	11,022	16,665	104,374	—	104,374
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,449	407	92	1,590	660	17,197	△17,197	—
計	41,118	33,018	17,500	12,611	17,325	121,571	△17,197	104,374
セグメント利益 又は損失(△)	1,020	1,220	△1,395	127	1,608	2,581	△23	2,558

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△17,197百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円には、のれんの償却額△2百万円、たな卸資産の調整額△28百万円及び固定資産に係る調整額6百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて251百万円、「中国」セグメントにおいて109百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,589	31,559	19,638	13,240	16,263	107,288	—	107,288
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,729	218	61	1,302	564	16,873	△16,873	—
計	41,318	31,777	19,699	14,541	16,827	124,161	△16,873	107,288
セグメント利益 又は損失(△)	2,132	719	△320	312	1,479	4,322	△283	4,039

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△16,873百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△283百万円には、のれんの償却額△2百万円、たな卸資産の調整額△159百万円及び固定資産に係る調整額△121百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて247百万円、「欧州」セグメントにおいて135百万円の減損損失を計上しております。

(その他の注記)

当社連結子会社が保有する不動産を、経営資源の有効活用による資産の効率化と財務体質の強化を図るため譲渡し、当該固定資産の譲渡に伴う売却益1,919百万円を特別利益に計上しました。